

## 標準委員会 第25回基盤・応用技術専門部会議事録

1. 日 時 2014年8月28日(木) 10:00~11:10

2. 場 所 5東洋海事ビル A,B会議室

3. 出席者(敬称略)

(出席委員) 岡本(部会長), 吉田(幹事), 石川, 伊藤(開始後入室), 北島, 越塚(途中入室), 堺, 坂本, 宿谷, 田中, 西谷, 西田, 沼田, 日比, 宮坂, 山口(16名)

(代理委員) 鍋島邦彦(日本原子力研究開発機構/堺委員), 中瀬辰男(関西電力/西谷委員/藤井(委員))(2名)

(欠席委員) 越塚, 萩原(2名)

(常時参加者) 笠原(1名)

(説明者) [廃止措置分科会] 田村明男(委員候補/(一社)原子力安全推進協会), 工藤清一(常時参加者/MHI原子力エンジニアリング(株)), [シミュレーションの信頼性分科会] 中田耕太郎(主査), 工藤義朗(常時参加者/原子力規制庁), 笠原文雄(常時参加者/原子力規制庁)(5名)

(オブザーバ) 石倉 武((一財)エネルギー総合工学研究所), 湊 博一(日立GEニュークリア・エナジー(株))(2名)

(事務局) 中越, 谷井(2名)

4. 配付資料

ATC25-0 議事次第

ATC25-1 前回議事録(案)

ATC25-2 人事について

ATC25-3-1 「原子力施設の廃止措置の実施:20XX」標準委員会書面投票結果報告

ATC25-3-2 学会標準「原子力施設の廃止措置の実施」標準委員会指摘事項管理表

ATC25-4 「シミュレーションの信頼性確保のためのガイドライン:201X」のメールコメント投稿の結果について

ATC25-5 “シミュレーションの信頼性確保のためのガイドライン:201Xへのコメント対応”

ATC25-5 補足資料 “シミュレーションの信頼性確保のためのガイドライン:201X(案)”へのコメント対応”

ATC25-6 標準委員会 専門部会通則の見直し(案)

ATC25-7 分科会の活動状況について

### 参考資料

ATC25-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿

ATC25-参考2 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

事務局から開始時点で委員18名中, 代理委員を含む16名の出席があり, 委員会成立に必要な委員数(14名以上)を満足している旨, 報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC25-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事について（ATC25-2）

事務局からATC25-2に基づき、専門部会及び分科会の人事について説明があり、審議の結果、本専門部会での決議事項及び承認事項は全て承認された。

1) 専門部会

① 委員の退任【報告事項】

市川 陽一（龍谷大学）

岩崎 智彦（東北大学）

② 委員の選任【決議事項】

佐田 幸一（電力中央研究所）

藤井 大士（関西電力）

奥田 尚登（日本原子力発電）

③ 委員の再任【承認事項】

岡本 孝司（東京大学）

萩原 剛（東芝）

吉田 啓之（日本原子力研究開発機構）

越塚 誠一（東京大学）

山口 彰（大阪大学）

堺 公明（日本原子力研究開発機構）

上野 信吾（三菱総研）

坂本 幸夫（アトックス）

日比 宏基（三菱FBRシステムズ）

西田 浩二（日立GEニュークリア・エナジー）

沼田 邦夫（日本原子力発電）

宮坂 靖彦（原子力研究バックエンド推進センター）

④ 委員の所属変更【承認事項】

田中 健一 日本原子力発電→（一財）エネルギー総合工学研究所

2) 分科会

①委員の退任【報告事項】

廃止措置分科会

井上 義弘（三菱原子燃料株式会社）

初岡 賢政（（一社）原子力安全推進協会）

シミュレーションの信頼性分科会

岩崎智彦（東北大学）

②新委員の選任【承認事項】

シミュレーションの信頼性分科会

相澤 直人（東北大学）

③常時参加者の登録解除【報告事項】

シミュレーションの信頼性分科会

堀田 亮年（原子力規制庁）

④常時参加者の所属変更【報告事項】

□シミュレーションの信頼性分科会

中島 鐵雄 (独) 原子力安全基盤機構→原子力規制庁  
審議の結果、相澤委員の選任が承認された。

- (3) 【報告・審議】「原子力施設の廃止措置の実施：20XX」標準委員会書面投票結果及びその対応について (ATC25-3-1, ATC25-3-2)

事務局から ATC25-3-1 に基づき、“原子力施設の廃止措置の実施：20XX”の標準委員会書面投票結果の結果、標準案は可決されたことが報告された。引き続き、廃止措置分科会の田村委員候補、工藤常時参加者から資料 ATC25-3-2 に基づき、標準委員会書面投票での指摘事項への対応案について説明があった。

審議の結果、標準委員会書面投票での指摘事項への対応案について特にコメントはなく了承され、本案を標準委員会で本報告することが決議された。

- (4) 【報告】「シミュレーションの信頼性確保のためのガイドライン：201X」のメールコメント投稿の結果について (ATC25-4)

事務局から ATC25-4 に基づき、“シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン 201X”のメールコメント投稿の結果の結果、コメントがなかったことが報告された。

- (5) 【報告・審議】“シミュレーションの信頼性確保のためのガイドライン：201X”へのコメント対応” (ATC25-5, ATC25-5 補足資料)

シミュレーションの信頼性分科会の中田主査、笠原常時参加者、工藤義朗常時参加者から、TC25-5, ATC25-5 補足資料に基づき、これまでのコメントへの対応案等について報告があった。主な質疑・コメント等は下記のとおり。

Q 信頼性についての用語に関しては、このガイドラインの主題でもあり、用語及び定義の注記で補足するよりも、解説に説明として記載するのがよい。

A 拝承。

Q 本体の不確かさを考慮した予測解析の項にて記載の感度解析について、附属書で説明すること。

A 拝承。

Q 妥当性確認実験の V&V を含め実験自体の妥当性について何を要求するのか？

A 妥当性確認実験については、シミュレーションにかかわる数学的モデル化と同様に、実験の不確かさを定量化して検証することになる。また、実験計画及び実験条件の評価時にシミュレーションを使用したり、code scaling のようにシミュレーションを介したスケーリング特性を評価したりするなど、その検証及び妥当性確認の一助としてシミュレーションも活用できる。なお、過去の実験については、既往実験データベースの調査に基づいて、実験の不確かさが適切に定量化されていることの確認が必要となる。

審議の結果、これまでのコメントへの対応における修正及び今回の専門部会でのコメントを反映した内容で基盤・応用技術専門部会書面投票へ移行することが決議された。

- (6) 【報告】標準委員会 専門部会通則の見直し (案) (ATC25-6)

事務局から ATC25-6 に基づいて、“標準委員会 専門部会通則の見直し (案)”について報告があった。

6. その他

- ・次回第25回基盤・応用技術専門部会は，11月28日（金）午前中とした。

以上